

令和6年度和光市立新倉小学校 第2回 学校運営協議会（地域ミーティング）議事録

1 開催日時 令和6年5月27日（月） 14:30 ～ 16:15

2 場 所 和光市立新倉小学校 多目的室

3 出席者 川野 春彦 大川 朋寛 伊藤 裕美 栗原 一秀
片山 義久 高 徹二 新村 宏子（事務局）
本校教員、民生児童委員、保護者他 計47名

4 協議内容

協議1 クラブ活動の地域化

【現在あるクラブ活動】

科学、パソコン、料理・手芸、テニス、バドミントン、漫画・工作、室内競技、レク、外球技、囲碁将棋、琴、写真

【クラブ活動の地域化をするメリット】

- ・教職員の負担軽減。
- ・専門的知識による指導をお願いできる（以前ダンスクラブがあったが、指導できず2年で廃止）。
- ・専門性のある時間から子供たちの興味に繋がる。

【地域化による可能性】

- ・地元の農家の方と地元の食材で「料理クラブ」の活動をする。
- ・「囲碁将棋クラブ」、「PCクラブ」、「漫画工作クラブ」などはゲストティーチャーを招き、交流試合などをする。
- ・「写真クラブ」は展示会の企画、郊外での撮影を企画。
- ・外部の方が入ることで新しい人間関係が生まれる。

【指導者について】

- ・学生ボランティア、地域の活躍されている方々、民間企業など。
- ・学生さんに技術的指導をしていただき、教員がフォローをする。
- ・完全にお任せするのではなく、サポートとして入っていただく。
- ・毎回ではなく時間のあるときに来ていただく（仕事の都合などがあるため）。
- ・指導だけでなく準備もサポートしていただける方。
- ・専門的な知識がなくても、子供を見守ってくれる人もいて欲しい。

【指導者の募集】

- ・クラブ活動の目的や内容を理解していただく。
- ・クラブ活動日を月曜午後ではなく、ほかの小学校と被らない火曜午後などにして指導者を募る。
- ・地域で活躍されている方への依頼。

協議2 業務改善・学校行事・地域行事の見直し

【業務改善】

- ・集金方法について（キャッシュレス or 一定の金額を集めてそこから使う）。
- ・連絡帳の記入について。
- ・プール清掃（負担が大きい）。
- ・水泳指導を委託（わびあ、ザバスに移行）。
- ・会議の終了時間の設定をする。
- ・公園内等でのトラブルは警察に任せる。
- ・ただやるだけでなく、やることによって得られることを付加する。

【学校行事】

- ・コロナにより既に縮小されてきたが、縮小により業務改善されるわけではない。
- ・時間と期間を決めてその中でできることをやる。
- ・懇談会は必要（顔合わせがあるとトラブル時役立つ）。
- ・校内作品展は体育館ではなく廊下で行う。授業参観のときに見ていただく。
- ・行事を入れる時期の工夫。
- ・行事ごとの集合写真の必要性について。
- ・学校応援団の活用（運動会の準備、当日の受付、ライン引き）。
- ・協働を学ぶ場としての運動会。

【地域行事】

- ・PTA 広報誌について。
- ・廃品回収について。
- ・新倉夏まつりは地域の方にお任せする。
- ・新倉夏まつりの収益は何に使われているのか詳細の周知。
- ・あいさつ運動は門に教員が立たなくてもよいのではないか。（ホームページや学校だよりなどで伝える）

○次回以降の学校運営協議会の実施日時について

9月12日（木）16：00～

新倉小学校「地域ミーティング（熟議）」

本日の流れ

令和6年5月27日（月）

- 1 ねらい 教職員や保護者、地域の方々が一堂に会して協議を行い、
 - ① 新しい学びを進め、学校教育目標の具現化を進める。
 - ② 学校の保護者・地域理解を深める。
 - ③ 家庭や地域の教育力を高める。

- 2 参加者
 - 新倉小教職員、学校運営協議会委員
 - （新倉小保護者、地域の方、民生委員方々など）

- 3 内 容 参加者によるグループ協議等

- 4 日 程
 - 14：30～ 受付等
 - 15：00～ 自己紹介・概要説明
 - 15：10～ 熟議開始
 - 15：10～15：30協議①
 - 15：30～15：50協議②
 - 15：50～16：00全体で共有
 - 16：00～16：10まとめ
 - 16：15 閉会あいさつ
 - 終了・後片付け

これからの学校に向けて

子供たちのために今できること

新倉小学校 地域ミーティング
令和6年5月27日(月)

**2019年 文部科学省からGIGAスクール構想が示される
児童一人一台の端末の時代**



**2020年 新学習指導要領 小学校で全面实施
「主体的・対話的で深い学び」の授業改善**



**2021年 中央教育審議会
「令和の日本型学校教育の構築を目指して」答申
子どもの学びの姿
ICT活用の推進による
「個別最適な学び」「協働的な学び」が示される**

膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが求められる。



**子供たち一人一人の可能性を伸ばしていく
新しい時代に求められる
資質・能力を確実に育成していく**

教職員(28人)アンケート実施(令和6年5月16日~20日)

①自宅など、学校外で仕事をするのは何時間ですか？(1週間合計)

15時間以上	1人
10時間以上	4人
5時間以上	9人
おおむね0時間	14人

50%の職員が恒常的に
自宅で仕事をしている

②授業を充実させるために教材研究の時間を持っていますか？

25%の職員が
十分な教材研究
ができていない

十分な教材研究ができている 0人

おおむねできている 19人

仕事が忙しくて充分ではない 8人

仕事が忙しくてできていない 1人

③教材研究を充分に行うため、業務の削減や行事の縮小が必要です。
どの業務を軽減すれば、負担感がなくなりますか？

学校行事等（あいさつ運動、集会含む）	12人	43%
会議、部会等	17人	61%
PTA、地域行事等	17人	61%
その他	2人	8%

自由記述欄

- **教育の質を向上させたい（地域連携）**
- **もっと子供と向き合う時間がほしい**
- **教材研究の時間が充分取れない**
- **業務に負担感を感じている（集金等）**
- **配慮を要する児童の増加**
- **校外行事の準備（下見、文書作成）**

熟議とは…

熟議とは、多くの当事者が「熟慮」と「議論」によって問題の解決を目指す対話のこと。保護者や地域住民等、様々な立場の関係者が一つのテーブルにつき、活発な議論を重ねることで、新しいアイデアや考え方を生みだしていくこと。

協議 1

クラブ活動の地域化

月曜日 年9回

- ・ 科学
- ・ パソコン
- ・ 料理、手芸
- ・ テニス（外部）
- ・ バドミントン
- ・ マンガ、工作
- ・ 室内球技
- ・ レク
- ・ 外球技
- ・ 囲碁、将棋
- ・ こと（外部）
- ・ 写真

